






【プログラムⅣ－①－1】

**テーマ** 祖父母としての役割

**プログラム** 孫へのかかわり方について考えよう

**ねらい** 孫へのかかわり方についてロールプレイングをしたり、話し合ったりすることを通して、祖父母としての役割について考える。

<展開（60分）>

時間	展開（進行マニュアル）	展開のポイント
導入 10分	1 テーマの説明 2 アイスブレイキング ・自己紹介 ・伝言ゲーム 3 「3つの約束」の確認	・参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話し合いのためにアイスブレイキングを行う。 <3つの約束> ① 一人一人が主役です ② お互いの意見を尊重しましょう ③ ここだけの話にします
展開 (1) 20分	4 孫へのかかわり方において祖父母として気をつけることについて考える。 ① ラベルに記入する  <p>お孫さんへのかかわり方において、祖父母として気をつけていることについて考えましょう。おこづかいのこと、孫とのかかわり、親とのかかわりなどについて考えてみましょう。</p> ② ラベルワークを行い、グループ・全体で話し合う  <p>ラベルに記入したことを皆さんに紹介しましょう。自分のお孫さんへのかかわり方を、他の参加者に強要せず、お互いの考えを認め合いましょう。</p>	<ワークショップ1（ラベルワーク）> 孫へのかかわり方において、祖父母として気をつけることについて考えましょう。 例：「簡単におこづかいをあげない」「親のしつけを批判しない」「甘やかし過ぎない」など ・自分の孫へのかかわり方を、他の参加者に強要せず、お互いの考えを認め合えるようにする。 ・意見を、おこづかいのこと、孫とのかかわりや親とのかかわりなどのカテゴリーで分けた後で話し合う。
展開 (2) 20分	5 ほしい物をねだってきた孫へのよりよい言葉かけについて考える。 ① ワーク2に記入し、ロールプレイングを行う  <p>ほしい物をねだってきたお孫さんへのよりよい言葉かけについて考えましょう。お孫さんがほしがる物については、子どもの発達段階に合わせてペアの方と考えましょう。</p> ② グループ・全体で話し合う  <p>他のペアの方のロールプレイングをご覧になっていかがでしたか。これまでの自分のお孫さんへの対応についても振り返ってみましょう。</p>	<ワークショップ2（ロールプレイング）> 孫が自分に「〇〇買って」と、ほしい物をねだってきた時。 例：「もうちょっと我慢しようね。」「〇〇を頑張ったら、買ってあげるね。」「まだ、小学生には必要ないよ。」など ・孫がほしがる物については、子どもの発達段階に合わせて考える。 ・すべての参加者のロールプレイングに対してお互いのよさを認め合えるようにする。
まとめ 10分	6 まとめ ・読み聞かせ ・今日の学習の感想  <p>最後に、「だいじょうぶ だいじょうぶ」という絵本を読みます。今後、お孫さんによりよい言葉かけができるといいですね。</p>	・絵本「だいじょうぶ だいじょうぶ」（いとうひろし作、講談社）の読み聞かせを聞き、祖父母としての役割に気付かせる。 ・今日の感想を書かせる。

## 『[IV-①-1] 孫へのかかわり方について考えよう』ワークシート

### ワーク1 (ラベルワーク)

<課題> 孫へのかかわり方において、祖父母として気をつけることについて考えましょう。

メモ

### ワーク2 (ロールプレイング)

<場面設定> 孫が自分に「〇〇買って」と、ほしい物をねだってきた時。

<孫役> (例) 「おばあちゃん、〇〇買って。」



<祖父母役>

<これまでの自分のお孫さんへの対応について振り返りましょう。>

<今日の学習の感想>

【プログラム IV-①-2】

**テーマ** 祖父母としての役割

**プログラム** 子育て中の親への接し方について考えよう

**ねらい** 祖父母として子育てをしている親へのかかわり方から、祖父母としての役割について考える。

<展開(60分)>

時間	展開(進行マニュアル)	展開のポイント
導入 10分	<p>1 テーマの説明</p> <p>2 アイスブレイキング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後出しじゃんけん</li> <li>・誕生日チェーン(グループ分け)</li> </ul> <p>3 「3つの約束」の確認</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話し合いのためにアイスブレイキングを行う。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;3つの約束&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 一人一人が主役です</li> <li>② お互いの意見を尊重しましょう</li> <li>③ ここだけの話にします</li> </ol> </div>
展開 (1) 20分	<p>4 子育て中の親の悩みや不安について考える。</p> <p>① ラベルに記入する</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>子育て中の親の悩みや不安はどんなことがあるでしょう。体験談や知人の話、マスコミ等の情報などからも考えてみましょう。</p> </div> <p>② ラベルワークを行い、グループ・全体で話し合う</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>どんな悩みや不安が多いのか、意見を出し合ひましょう。出された意見については、親子関係、子どものこと、自分のことなどカテゴリーに分けてみましょう。全体では各グループの話し合いの内容を紹介し合ひましょう。</p> </div>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>&lt;ワークショップ1(ラベルワーク)&gt;</p> <p>子育て中の親の悩みや不安について考えましょう。</p> </div> <p>例：「ゲームばかりして勉強をちっともしない」 「家ではほとんど親と口を聞かない」 「褒めるより叱ることが多い」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が子育て中に悩んでいたことや、親から相談を受けたこと、一般的に親が悩んでいると思われることも挙げる。</li> <li>・意見を親子関係、子どものこと、自分のことなどのカテゴリーで分けた後、話し合う。</li> </ul>
展開 (2) 20分	<p>5 子育ての悩みや不安を抱えている親への言葉かけや接し方について考える。</p> <p>① ワークシートに記入し、ロールプレイングを行う</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>子育ての悩みや不安を抱える親への言葉かけや、よりよい接し方について考えましょう。自分が相談を受けたことや、自分が子育て中に悩んでいたことなどを思い出しましょう。親の心情に寄り添った言葉かけについて考えましょう。</p> </div> <p>② グループ・全体で話し合う</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>他のペアのロールプレイングをご覧になっていかがでしたか。親への言葉かけや接し方について自分でも振り返ってみましょう。よりよい言葉かけや接し方について意見を交換し合ひましょう。</p> </div>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>&lt;ワークショップ2(ロールプレイング)&gt;</p> <p>子育て中の親が悩みや不安を相談した時。</p> </div> <p>例：「よくあるよね。そういうこと。」 「子育ての本にこんなことが紹介されていたよ」 「〇〇さんに一度話を聞いてもらったら」 など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・悩みや不安の内容については事前にトレーナーが決めておく。</li> <li>・ペアで祖父母役と親役に分かれてロールプレイングを行う。</li> <li>・話し合いは、ロールプレイングを見た感想だけでなく、親へのよりよい言葉かけや接し方についても意見を出させる。</li> </ul>
まとめ 10分	<p>6 まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックトーク</li> <li>・今日の学習の感想</li> </ul> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>最後に「孫育て一年生」「孫育ての時間」を紹介し、子育てで悩みや不安を抱えている親の心に寄り添い、よりよい言葉かけができるといいですね。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「孫育て一年生」(棒田明子著 KADOGAWA)「孫育ての時間」(山縣威日・中山真由美編 吉備人出版)のブックトークを聞き、子育てに悩んでいた、不安を抱えていたりする親にどんな言葉をかけたらいいのか、どんな接し方をしたらいいのかを考えさせることで、祖父母としての役割に気付かせる。</li> <li>・今日の学習の感想を書かせる。</li> </ul>

『(Ⅳ-①-2) 子育て中の親への接し方について考えよう』

ワークシート

ワーク1 (ラベルワーク)

<課題> 子育て中の親の悩みや不安について考えましょう。

メモ

ワーク2 (ロールプレイング)

<場面設定> 子育て中の親が悩みや不安を相談した時

<今日の学習の感想>






【プログラムⅣ-②】

**テーマ** 子育ての先輩として

**プログラム** 地域の親の相談にのろう

**ねらい** 子育てに悩んでいる地域の親とのかかわり方についてロールプレイングをしたり、話し合ったりすることを通して、地域における子育ての先輩としての役割について考える。

<展 開 (60分) >

時間	展 開 (進行マニュアル)	展開のポイント
導入 10分	1 テーマの説明 2 アイスブレイキング ・自己紹介 ・伝言ゲーム 3 「3つの約束」の確認	・参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話し合いのためにアイスブレイキングを行う。 <3つの約束> ① 一人一人が主役です ② お互いの意見を尊重しましょう ③ ここだけの話にします
展開 (1) 20分	4 子育てに悩んでいる親の悩みについて考える。 ① ラベルに記入する  <p>子育てに悩んでいる親の悩みについて考えましょう。 自分が子育て中に悩んでいたことや、一般的に親が悩んでいると想像できることも挙げてみましょう。</p> ② ラベルワークを行い、グループ・全体で話し合う  <p>出された意見を、親子関係、子どものこと、自分のことなどのカテゴリーで分けましょう。実際に自分が悩んでいたことや、相談を受けたことなどについて、具体的に話してください。</p>	<ワークショップ1 (ラベルワーク) > 子育てに悩んでいる親の悩みについて考えましょう。  例：「うちの子が反抗的で言葉遣いも悪い」「友達にいじめられて学校に行かない」「イライラして、すぐに叱ってしまう」など  ・自分が子育て中に悩んでいたことや、一般的に親が悩んでいると想像できることも挙げる。 ・意見を、親子関係、子どものこと、自分のことなどのカテゴリーで分けた後、話し合う。
展開 (2) 20分	5 子育てに悩んでいる親へのよりよい言葉かけについて考える。 ① ワーク2に記入し、ロールプレイングを行う  <p>子育てに悩んでいる親の悩みについて考えましょう。 自分が子育て中に悩んでいたことや、一般的に親が悩んでいると想像できることも挙げてみましょう。</p> ② グループ・全体で話し合う  <p>他のペアの方のロールプレイングを御覧になっていかがでしたか。これまでの自分の地域の親への対応についても振り返ってみましょう。</p>	<ワークショップ2 (ロールプレイング) > 地域の親が、子育ての悩みを打ち明けてきた時。  例：「私も同じことを悩んでいたよ」「この本を読むとヒントが書いてあるよ」「私が〇〇くんと話をしてみるね」など  ・悩みの内容については、事前にペアで話しあって決める。 ・話し合いでは、ロールプレイングを見た感想だけでなく、これまでのかかわり方についても振り返らせる。
まとめ 10分	6 まとめ ・読み聞かせ ・今日の学習の感想  <p>最後に、「最初の質問」という絵本を読みます。地域における子育ての先輩として、できることをやっているといいですね。</p>	・絵本「最初の質問」(長田弘詩、いせひでこ絵 講談社)の読み聞かせを聞き、地域における子育ての先輩としての役割に気付かせる。 ・今日の学習の感想を書かせる。

## 『Ⅳ-②』地域の親の相談にのろう』ワークシート

### ワーク1 (ラベルワーク)

＜課題＞子育てに悩んでいる親の悩みについて考えましょう。

メモ

### ワーク2 (ロールプレイング)

＜場面設定＞地域の親が、子育ての悩みを打ち明けてきた時。

＜地域の親役＞

(例) 「〇〇さん、うちの子が最近〇〇で・・・」



＜地域住民役＞

＜今日の学習の感想＞








【プログラムⅣ-③】

**テーマ** シニアの知識や技

**プログラム** 自分のもっている知識や技を伝えよう

**ねらい** 自分のもっている知識や技についての話し合いを通して、地域の子どものために自分達にできそうなことについて考える。

<展開(60分)>

時間	展開(進行マニュアル)	展開のポイント
導入 10分	1 テーマの説明 2 アイスブレイキング ・自己紹介 ・〇×クイズ 3 「3つの約束」の確認	・参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話し合いのためにアイスブレイキングを行う。 <3つの約束> ① 一人一人が主役です ② お互いの意見を尊重しましょう ③ ここだけの話にします
展開 (1) 20分	4 地域の子どものために自分ができそうなこと(知識や技)について考える。 ① ラベルに記入する  <p>地域の子どものために自分ができそうなこと(知識や技)は何でしょうか。特別に得意なことがない場合は、一緒に遊ぶや一緒に掃除などでもいいですよ。</p> ② ラベルワークを行い、グループ・全体で話し合う  <p>できそうなこと(知識や技)をカテゴリーごとに分けましょう。一緒に活動できそうな仲間がいらっしゃったら、確認しましょう。</p>	<ワークショップ1(ラベルワーク)> 地域の子どものために自分ができそうなこと(知識や技)は何でしょうか。 例: 「読み聞かせや昔話ができる」 「花を植えたり、育てたりするのが得意」 「竹とんぼなど竹細工が得意」 など ・特別に得意なことがない場合は、一緒に遊ぶや一緒に掃除などでも良いことを伝える。 ・できそうなこと(知識や技)をカテゴリーごとに分けることで、一緒に活動できる仲間を確認する。 ・カテゴリー例: 自分の趣味・特技(花作り、竹細工、読み聞かせ)、子どもと共に活動するなど
展開 (2) 20分	5 地域の子どものために自分達にできそうなこと(知識や技)をもとに、計画案を考える。 ① ワーク2に記入する  <p>地域の子どものために自分達にできそうなこと(知識や技)をもとに、計画案を考えましょう。活動できるメンバーが複数いる場合は、計画案を一緒に考えてもいいですよ。</p> ② グループ・全体で話し合う  <p>実現可能な場合は、具体的な実施場所や時間、連絡先なども話し合いましょう。他のグループの計画案も参考にして、自分達の計画案を修正してもいいですよ。</p>	<ワークショップ2(話し合い)> 地域の子どものために自分達にできそうなこと(知識や技)をもとに、〇〇計画案を考えよう。 例: 「保育園で、昔話をする」 「小学校で、花植えや草取りをする」 「習字の授業の手伝いをする」 など ・活動できるメンバーが複数いる場合は、計画案を一緒に考えさせる。 ・実現可能な場合は、具体的な実施場所や時間、連絡先なども話し合う。
まとめ 10分	6 まとめ ・カードの記入 ・今日の学習の感想  <p>自分が地域の子どものためにできそうなことについて、カードに記入し、グループ内で交換してコメントをもらいましょう。</p>	・カードに地域の子どものためにできそうなことについて記入し、グループ内で交換してコメントをもらう。 ・今日の学習の感想を書かせる。

## 『Ⅳ-③』 自分のもっている知識や技を伝えよう』ワークシート

### ワーク1 (ラベルワーク)

＜課題＞ 地域の子どものために自分ができそうなこと（知識や技）は何でしょうか。

メモ

### ワーク2 (話し合い)

＜課題＞ 地域の子どものために自分達にできそうなこと（知識や技）をもとに、〇〇〇計画案を考えよう。

(例) 日時、場所、対象、必要なものなど

＜今日の学習の感想＞